

県共闘

神奈川県共闘ニュース

発行 神奈川県労働組合共闘会議

住所 〒231-0028

横浜市中区鶴岡1-5-14新見鶴ビル4階

電話・FAX 045-319-4391

Twitter :@kanagawaroudou

2022年 7月14日

第27号

沖縄復帰50年、憲法を守り平和外交を!

沖縄は6月23日、沖縄戦の犠牲者を悼む「慰霊の日」を迎えた。戦争で国内最大の地上戦が繰り広げられ、市民を巻き込み軍民あわせて20万余の尊い生命、財産、文化遺産を失った。その沖縄戦の悲劇を忘れることなく不戦を誓う願いを「月桃(げっとう)」という歌に託している。月桃はすずしげな葉っぱの間にかわいらしい花をたくさん咲かせることから、花言葉は「さわやかな愛」と言われる。沖縄に自生する植物で、春から初夏に花をつける。その沖縄戦を経て8月6日広島、8月9日長崎への原爆投下で多大な犠牲者を生み、8月15日の敗戦を迎えた。この8月15日にも各地で式典が開催される。しかし、77年を経ても、親を失い子供を失った悲しみ、戦闘や被爆の傷、そして心の傷は癒えない。戦争が終焉したとはいまだに言えない。

今年2月24日、ロシアがウクライナへ侵攻した。新たな戦争は長引き5カ月を過ぎた。両国の軍人・民間人の

死傷者は数万人に達し、ウクライナ避難民は698万人(国連6月1日現在調べ)とみられるなど、沖縄戦と同様に大きな犠牲を両国民に強いている。それでも戦争は激化し終結への道筋は見えていない。ロシアの侵略行為は、国同士が侵略しあってはいけないとされている国際法や国連憲章に違反した行為であり、どのような言い訳をしても許されるものではない。世界は「国際法・国連憲章を守れ!」「ロシアは侵略をやめよ!」で団結し、その履行をロシアに求めなければならない。

一方国内では、ロシアのウクライナ侵略を機に、敵基地攻撃能力保持、軍事費倍増などの軍備強化や、唯一の被爆国で核被害の悲惨さを一番知り、非核三原則で核兵器を持ち込ませないことを掲げる国が、核兵器の共有を検討しようと発言するなど、平和憲法前文の思いを反故にする主張で、これは際限のない軍拡競争、戦争へつながる道で、憲法とは相いれない。

私たちは、平和憲法を活かし武力に依らない粘り強い働きかけの外交、アメリカ一辺倒外交から地域に根差した外交に転換し、戦争をしない、巻き込まれないための外交を政府に強く働きかけていかなければならない。



(原子爆弾落下中心碑の前にて2019/8/9)

写真の追悼碑の上空500メートルで爆発した原爆は、一瞬のうちに多くの人命を奪いました。碑の前に置かれた原爆殉難者名奉安箱には原爆により爆死された方、被爆者でその後亡くなられた方々の氏名(複製)を納めています。

《神奈川県共闘学習会開催のご案内》

2020年と2021年に改正された法律は、労働時間や年次有給休暇など働き方に影響する法改正で働き方改革と言われています。働き方改革とひとことで言っても「どこが変わるのかわからない」「職場に導入された制度が正しいのか」との疑問があるのではないのでしょうか。改正法を学び自らの働き方を見直すとともに、使用者に法令遵守を求めるためにもあらためて働き方改革について考えてみましょう。

県共闘は、「労働法制改悪の問題点～解雇の金銭解決制度と裁量労働制の拡大は何をもたらすか～」をテーマに 嶋崎 量弁護士(神奈川県総合法律事務所、元日本労働弁護団事務局長)を講師に学習会を開催します。是非ともご参加いただきたくご案内申し上げます。

記

日時 2022年8月1日(月) 18:30～

場所 横浜市技能文化会館801

7月・8月期の行動予定

★ 桜木町最賃情報署名行動

第1回

日時 7月23日 17:00～

場所 JR桜木町みなとみらい側

第2回

日時 8月3日 17:00～

場所 JR桜木町みなとみらい側

★ 県共闘学習会

日時 8月1日 18:30～

会場 横浜技能文化会館801号

(最寄り駅 JR 関内北口徒歩5分)

★ 2022寿夏祭り

日時 8月12日～15日

場所 寿公園にて

＜2022 最低賃金

闘争はじまる！＞

報告 全国一般神奈川米山

桜木町最賃情宣行動に参加を！

7月23日17時～桜木町駅前宣行動

(主催 Fight For1500 神奈川実行委員会)

コロナの感染拡大、ロシアによるウクライナ侵攻、さらに円安による物価高騰の中で労働者の生活はますます厳しくなっています。このような中、2022最低賃金審議会が開始されています。物価上昇に見合った労働者の賃上げ、また、消費拡大でGDPを上げるためにも最賃アップは労使双方にとって不可欠な課題です。

しかし現実には、中小企業の多くが賃上げをする余裕もなく、解雇、雇い止め、倒産激増が予想されています。政府は自然淘汰だとウソぶきながら、国債発行で中小支援の財源を確保するつもりなのですが、500兆円にも及ぶ大企業の内部留保への課税は考えていません。あくまでも、中小企業、そこで働く労働者の切り捨て、大企業優先の経済政策です。このような時代にあって圧倒的多くの非正規労働者の賃上げを確保するためには、「全国一律1500円の最低賃金」の運動が極めて大切な闘いです。

そして同時に倒産などによる解雇、雇い止めに対する闘いが不可欠の課題です。そのような思いで、Fight For1500 神奈川実行委員会に参加して最賃運動を進めていきます。

既に、神奈川では175筆の署名を集め、全国で10,315筆分の署名を中央最賃審議会に提出しました。

ご協力ありがとうございました。共に頑張りましょう。



(県共闘署名行動イセザキ

モールにて5月22日)

＜今年こそ楽しい夏祭りを！＞

報告 寿日雇労働組合 近藤 昇
コロナ禍のためここ2年実施できなかった夏祭り。今年こそは、と実行委が結成され着々と準備が進んでいる。ただし、7月に入ってから感染力が強いオミクロンBA-5への置き替わりと感染拡大が明らかとなってきた。まだ最終的なゴーサインを出すには至っていないが、実行委員会一同祈りを込めて準備中だ。

日程は、8月13、14日が本番で、15日は例年通りこの一年で亡くなった仲間を偲ぶ「物故者供養」の施餓鬼会が青葉区の徳恩寺によって寿町供養塔とセンター前広場において行われる。親兄弟との縁がほとんど切れ、自分の高齢化も進む寿の人々にとって極めて大事な集いであり、コロナ禍によって夏祭り自体は中止せざるを得なかったこの二年もこの行事は取り組まれてきたのだ。その意味でわれわれにとっても非常に大事にしてきたものなのである。

今のところ本番の13、14日において実施が確認されているのは、カラオケ大会、盆踊り、山車巡行、歌謡ショー(寿出身の菊千鶴さん出演)などであり細部を詰めているところだ。その他、実行委員会参加団体による模擬店出店も行われる予定で、ただしコロナ感染拡大への対応として模擬店での酒類提供は行わないことになった。以上楽しい夏祭り開催に向けて準備は進行中。コロナ状況による開催中止という可能性を残しつつ。



(5/3 憲法集会にて寿の仲間と共に)

＜課題解決へ方針決まる！＞

報告 がくろう神奈川 宮澤
学校事務職員労働組合神奈川(がくろう神奈川)は去る7月7日、第26回定期大会を行い今年一年間の方針を討議、採択した。コロナ禍は三年目を迎え学校現場では感染症対策のための予算処理やオンライン授業導入に伴う環境整備など、教員の負担だけに止まらず職場全体にその影響が及んでいる。また文科省と日教組が一体となって進める学校事務の「共同実施(集約化)」も横浜、川崎を中心とする県内学校現場で進んでいる。共同実施は将来的に学校共同事務室として現在一校当たり原則一人配置されている学校事務職員を一か所に集約化することを企図している。また、参院選後の労働法制改悪や憲法改悪情勢について対決していく方針が提起、採択された。方針をめぐる議論の中では昨年度末に校長からの嫌がらせ(ハラスメント)により任用が途切れ、現在組合に加入し闘っている組合員の案件が紹介され、任用確保に取り組むことが確認された。また、民間の雇用契約においては導入されている同一職場で5年間継続して雇用されている有期雇用労働者の無期転換ルールを公務職場でも求めて行くことの重要性が確認された。がくろう神奈川は今年度、湘南地域で日教組組織を脱退して加入した組合員があり、湘南地域の組織再建への決意が語られた。県共闘、全国一般、JAL争議団、その他の友誼団体からの連帯挨拶を受け、活発な討議の中で成功裏に定期大会を終えることが出来た。まだ課題は多いが新しい組合員を迎えて次の一年を県共闘の仲間と共に闘っていききたい。

ヘイトスピーチは許さない!! 差別のない世界を!

敵意や憎悪を含んだ差別的な言動を繰り返すヘイトスピーチが激しさを増しています。川崎市は、市内の公共の場所で拡声機を用いる等でのヘイトスピーチは7月から罰則付き条例で規制されます。「言葉の暴力」に対する法的な支柱で、全国に広がることはヘイトをなくす一筋の光です。しかし、6月23日に川崎駅周辺でヘイトスピーチや差別助長する行為が行われ、また、参議院の選挙活動の名を借りたヘイト街宣が計画されました。このような差別を助長する行為を許さず差別のない街、世界を共に造りましょう。